

2004年度決算について

記者各位

本日開催の取締役会において、2004年度決算(2004年4月1日～2005年3月31日)が確定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2004年度連結決算について

当期の石油製品の総販売数量は前期比126万KL増加し8,744万KLとなりました。

その結果、連結売上高は、前期比15.1%増の4兆9,242億円となりました。

連結経常利益は2,124億円、総平均法による在庫評価が仕入コストに与える影響(在庫影響:前期△242億円 当期+607億円)を除いた実質的な経常利益は1,517億円となり、前期比では704億円の増益となりました。

これは、原油価格が急激に上昇したことにより、原油コストの販売価格への転嫁に伴うタイムラグの影響(減益要素)を受けましたものの、石油・天然ガス開発事業の増益や燃料油および石油化学製品のマージン改善に加えて、コスト削減・効率化が進捗したことなどによるものであります。

特別損益につきましては、不要資産の処分などバランスシートのスリム化を進めたことによる固定資産処分損益などにより、86億円の利益を計上いたしました。

以上の結果、連結当期利益は、1,315億円となり、前期比では2,650億円の増益となりました。

2004年度連結決算(単位:億円)

	2003年度	2004年度	増減
売上高	42,798	49,242	+ 6,444
営業利益	559	2,015	+ 1,456
営業外損益	12	109	+ 97
経常利益	571	2,124	+ 1,553
(在庫影響除き)	(813)	(1,517)	(+ 704)
特別損益	△ 2,068	86	+ 2,154
当期利益	△ 1,335	1,315	+ 2,650

当期の期末配当につきましては、第2次連結中期経営計画の利益目標を達成いたしましたので、株主の皆様のご支援・ご期待にお応えするため、1株につき4円から6円に2円増配を予定しております。これにより中間配当と合わせた年間配当は、1株につき7円から10円に3円増配となります。

2. 2005年度連結決算見通しについて

2005年度の連結売上高は、原油価格が引き続き高値で推移することなどにより、前期比1.3%増の4兆9,900億円となる見通しです。

石油・天然ガス開発事業において増益が見込まれるものの、在庫影響(増益要素)が縮小することなどにより、連結経常利益は1,590億円、在庫影響(+90億円)を除いた連結経常利益は1,500億円となる見通しです。

連結当期利益は880億円、予想ROEは9.1%程度となる見通しです。

2005年度の間・期末配当につきましても、さらなる配当水準の見直しを行い、1株につき2円増配となる年間12円(中間配当6円、期末配当6円)を予定しております。

【前提】 原油代 41.5\$/Bbl 円レート 105円/\$

2005年度連結決算見通し(単位:億円)


	2004年度	2005年度	増減
売上高	49,242	49,900	+ 658
営業利益	2,015	1,560	△ 455
営業外損益	109	30	△ 79
経常利益	2,124	1,590	△ 534
(在庫影響除き)	(1,517)	(1,500)	(△ 17)
特別損益	86	△ 30	△ 116
当期利益	1,315	880	△ 435

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以上

 『2004年度 連結・単体決算概要』(PDF:92KB)

 『連結貸借対照表要旨』(PDF:11KB)

 『2004年度 連結キャッシュ・フロー計算書要旨』(PDF:73KB)